

診療放射線部
藤井 弥生

CT (Computed Tomography : コンピューター断層診断装置) とは、体にX線を照射してコンピューター処理をすることによって、体の輪切りを撮影する検査です。

当院には、1階に2列CTと64列CT、地下に4列CTの計3台あります。2列CTで頭部撮影、4列CTで体幹部撮影、64列CTで体幹部撮影と特殊撮影(血管や心臓)の撮影を行っています。検査時間は部位により、5分~20分程度です。

CT検査では、プラスチック製のボタンやその他の衣類は画像に影響はありませんが、金属類を身につけていると(図1)のように画像に影響が出てしまいます。そのため、貴金属類は外していただき、ファスナーや金属製ボタン等の金属類がついた衣類は着替えていただきます。

影響を受けている部分 金属

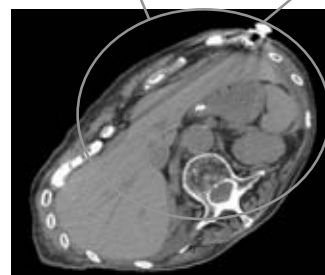


図1 金属による影響

単純CTと造影CT

CT検査には、単純CT(図2)と造影剤を使用する造影CT(図3)があります。

- ①**単純CT** : 撮影台に寝て、数回息止めをしていただくだけで終わります。
- ②**造影CT** : 単純CT撮影後に造影剤を注入して撮影します。

造影剤を使用する目的

使用するかどうかを検査目的に応じて医師が判断します。画像の濃淡をよりはっきりさせるのと、染まり具合を経時的に見ることによって、より正確に病状が把握できます。

造影CT検査の注意事項

造影剤は腕に注射をして入れます。注入中に急速に全身が熱く感じますがすぐに治まります。ほとんどの方に起こる現象なので心配いりません。嘔吐による誤嚥を防ぐため、検査の約4時間前から禁食をお願いします。飲み物、薬(一部の糖尿病薬は除く)は飲んでいただいてもかまいません。造影剤は尿として排泄されますので、むしろ多めに水分を取っていただいたほうが早く排泄されます。

造影剤の副作用

稀に造影剤注入で、吐き気、蕁麻疹、動悸、めまいなどの副作用を生じる場合があります。そのような場合はすぐにお知らせ下さい。

また6000~9000人に1人程度ですが、血圧低下などの重篤な副作用が起こる場合があります。しかし重篤な副作用が起こったとしても迅速に対応可能な体制を整えておりますのでご安心下さい。

造影剤検査の目的、副作用、服用している薬剤をどうしたらいいか等、わからないことがありましたら主治医にご相談ください。

造影剤検査をご理解のうえ、検査に同意していただける場合は検査予約時にお渡しする検査同意書にご署名の上、各診療科外来にご提出をお願い致します。



図2 単純CT画像



図3 造影CT画像

最後に

検査を行う上で患者様のご協力が不可欠であるため、この場をもって少しでもご理解いただけたらと思います。これからも検査の安全を守りつつ、最良な画像を提供できるよう努力していきたいと思っております。